

お知らせ

令和6年7月18日

■同時発表先：島根県政記者会、出雲市政記者クラブ、米子市政記者クラブ、松江市政記者クラブ

大型水鳥類が舞う斐伊川水系 の魅力を活かした地域づくりを進めます ～第11回 斐伊川水系生態系ネットワーク協議会※2を開催します～

斐伊川水系には豊かな水辺と水田地帯が広がっており、日本を代表する大型水鳥類が安定的に生息することができる環境を有したステキな地域です。

この環境を活かした、大型水鳥類をシンボルとした生態系ネットワーク※1の形成による魅力ある地域づくりを目指して、平成27年度に『斐伊川水系生態系ネットワーク協議会※2』を設立しており、多様な主体と連携した環境保全や地域振興に向けた取り組みを行っています。

この度、第11回の協議会を開催し、昨年度の取組状況の報告と今後の具体的な取組の進め方等について議論します。

※1「生態系ネットワーク」とは・・・参考 別紙—1

※2 正式名称：斐伊川水系生態系ネットワークによる大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

【開催概要】

- ◆と き : 令和6年7月22日(月) 10:00～12:00
- ◆と ころ : 松江市 松江テルサ 4F 大会議室
- ◆内 容 : 別紙—2「議事次第(案)」参考
- ◆参加予定団体 : 国、県、市、各種関係団体等

※これまでの協議会の詳細については、国土交通省出雲河川事務所のウェブサイトをご覧ください。

リンク先：<http://www.cgr.mlit.go.jp/izumokasen/iinkai/ryuiki/econet/index.html>

【取材について】

- ◆取材を希望される方は、事前に以下の問合せ先までご連絡ください。

＜問合せ先＞

斐伊川水系生態系ネットワーク協議会 事務局

■国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

総括保全対策官 : 眞田 淳二(さなだ じゅんじ)

(担当) 流域治水課長 : 吾郷 和史(あごう かずふみ)

電話番号 : 0853-20-1761 (流域治水課直通)

問合せ時間 : 平日9:00～17:00





生態系ネットワーク とは

生物多様性が保たれた国土を実現していくために、保全すべき自然環境や優れた自然条件を有している地域を核として、これらを有機的につないでいく、それが生態系ネットワークです。生態系ネットワークの形成は、生物多様性を保つだけでなく、社会・経済面での様々な効果を地域にもたらします。

この取組は、エコロジカル・ネットワークとも呼ばれています

生きものの生息する環境が、地理的に連続している場合のほか、渡り鳥の飛来地のように、地理的に連続していない場合も、ネットワークに含まれます。

第 11 回 斐伊川水系 生態系ネットワークによる 大型水鳥類と共に生きる流域づくり検討協議会

日 時：令和 6 年 7 月 22 日（月）
10：00～12：00
場 所：松江テルサ 大会議室
（オンライン併用）

議 事 次 第（案）

1. 開 会
2. あいさつ
3. 規約の改正について
4. 議 事
 - （１）生物多様性に関する国内外の動向と
斐伊川水系生態系ネットワーク全体構想について
 - （２）活動状況等報告
 - 2-1) 水辺環境等
 - ①水辺環境・鳥類（合同）ワーキング報告
 - ②出雲河川事務所による生息環境づくり
 - 2-2) 農地環境
 - ①農地環境ワーキング報告
 - ②ビオトープ整備
 - ③中海・宍道湖周辺の水田環境の変化
 - ④宍道湖西岸地区における環境配慮の取組
 - 2-3) 地域振興
 - ①地域振興ワーキング報告
 - ②コウノトリ・トキをシンボルとした地域づくりの取組
 - ③トキをシンボルとした地域づくりの取組
 - ④コウノトリをシンボルとした地域づくりの取組
 - ⑤サントリー世界愛鳥基金による活動
 - 2-4) 環境学習
 - ①環境学習ワーキング報告
 - （３）斐伊川水系生態系ネットワークのイメージ図について
 - （４）その他、情報提供
5. 閉 会